

パソコンの偽セキュリティ警告画面に注意！

【相談事例】

パソコンでインターネットを使用中、突然、警告音が鳴り響き、ウイルス感染の警告画面が出た。表示された電話番号に電話したところ日本語が片言の人が出た。言われるがままにパソコンを操作して、遠隔操作で警告音や警告画面を消してもらい、セキュリティソフトの購入契約をしてしまった。

解説：警告音を発したり、パソコンがウイルスに感染したとの偽の警告画面を表示し、ウイルス除去のサポートを勧めるといった相談が寄せられています。

これは、特定の URL にアクセスした場合に表示されるウェブサイトの画面（音は BGM 再生）であり、実際のウイルス感染の有無とは関係がありません。

実在する OS 会社のような名称が表示される場合もあり、注意が必要です。

騙されないでケロ！
画面の連絡先には電話
しないでケロ！



（画面はイメージです）

県消費生活センター
キャラクター“ケロちゃん”
消費者教育推進大使

アドバイス

・警告画面や音声は、ブラウザを終了するだけで消える

×印で閉じることができないときは、タスクマネージャーからブラウザを終了したりパソコンの再起動を試みましょう。独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) のホームページを参考にしてください。

・画面の連絡先に、決して連絡を取らない

電話をかけると、遠隔操作するためのソフトをインストールさせられたり、不要なセキュリティソフトを購入させられたりして、高額な請求を受けることがあります。

・普段からセキュリティ対策を

ウイルス感染の基本対策として、日頃からセキュリティソフトを入れアップデートを実施することを心がけましょう。

消費者ホットライン **188**

局番無しの3ケタで、最寄りの消費生活相談窓口をご案内します。

一人で悩まず
相談してケロ！

